

ジェンダー平等の日本へ いまこそ政治の転換を

共産党・田村智子政策委員長が発表



日本共産党の田村智子政策委員長は10月1日、国会内で記者会見し、総選挙に向け、男女賃金格差の是正、「痴漢ゼロ」などを打ち出した党の政策「ジェンダー平等の日本へ いまこそ政治の転換を」を発表しました。

田村氏は、前文で政策を貫く姿勢を示したと述べ、「いまの私たちの社会は、口先だけの『男女共同参画』や『多様性の尊重』でなく、本気でジェンダー平等に取り組む政治を渴望している」と強調。「日本のジェンダーギャップ指数が先進国で異常な低位を続けていることに政治が無関心だった。そのことがコロナ危機で女性の現実の苦しみとなっている」と述べ、「女性の運動に私たちも『ウイズ・ユー』の立場で、総選挙の大争点に押し上げ、実現していく」と表明。政策の骨子(下記の囲み)にそって説明しました。

男女の賃金格差



- 1、男女賃金格差の是正をはじめ、働く場でのジェンダー平等を進めます
- 2、選択的夫婦別姓、LGBT平等法を実現し、多様性が尊重される社会をつくります
- 3、「痴漢ゼロ」の実現、女性に対するあらゆる暴力を根絶します
- 4、リプロダクティブ・ヘルス&ライツの視点にたった政治を
- 5、意思決定の場に女性を増やし、あらゆる政策にジェンダー視点を貫く「ジェンダー主流化」を進めます

最後に田村氏は、日本の異常なジェンダー平等の遅れには、明治憲法下の家父長制を賛美し、女性を安上がりの労働力として利用する「古い価値観と財界言いなり」の自民党政治があるとして、「総選挙で決別するために力を尽くす」と表明しました。

政策の全文は→→



個人の尊厳が尊重され自分らしく生きられる
野党連合政権で
ジェンダー平等社会に



東京民報 意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2021年10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

#比例は 日本共産党

ジェンダー平等の日本へ いまこそ政治の転換を

共産党・田村智子政策委員長が発表



日本共産党の田村智子政策委員長は10月1日、国会内で記者会見し、総選挙に向け、男女賃金格差の是正、「痴漢ゼロ」などを打ち出した党の政策「ジェンダー平等の日本へ いまこそ政治の転換を」を発表しました。

田村氏は、前文で政策を貫く姿勢を示したと述べ、「いまの私たちの社会は、口先だけの『男女共同参画』や『多様性の尊重』でなく、本気でジェンダー平等に取り組む政治を渴望している」と強調。「日本のジェンダーギャップ指数が先進国で異常な低位を続けていることに政治が無関心だった。そのことがコロナ危機で女性の現実の苦しみとなっている」と述べ、「女性の運動に私たちも『ウイズ・ユー』の立場で、総選挙の大争点に押し上げ、実現していく」と表明。政策の骨子(下記の囲み)にそって説明しました。

男女の賃金格差



- 1、男女賃金格差の是正をはじめ、働く場でのジェンダー平等を進めます
- 2、選択的夫婦別姓、LGBT平等法を実現し、多様性が尊重される社会をつくります
- 3、「痴漢ゼロ」の実現、女性に対するあらゆる暴力を根絶します
- 4、リプロダクティブ・ヘルス&ライツの視点にたった政治を
- 5、意思決定の場に女性を増やし、あらゆる政策にジェンダー視点を貫く「ジェンダー主流化」を進めます

最後に田村氏は、日本の異常なジェンダー平等の遅れには、明治憲法下の家父長制を賛美し、女性を安上がりの労働力として利用する「古い価値観と財界言いなり」の自民党政治があるとして、「総選挙で決別するために力を尽くす」と表明しました。

政策の全文は→→



個人の尊厳が尊重され自分らしく生きられる

野党連合政権で ジェンダー平等社会に

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2021年10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党